

## 人権学習展開例〔第3学年〕

1 主 題 様々な国の文化や生活にふれる

2 教材名

# 21 外国のことばで歌おう



3 主題・教材について

子どもたちは、日常生活の中で、外国語の歌や外国で生まれた曲にたくさん出会っている。そこで、外国の言葉で楽しく歌を歌うことを通して、異文化に親しむきっかけをつくることができると考える。

この教材では、子どもたちがよく知っているであろう歌「Head, Shoulders, Knees and Toes」（頭、肩、ひざ、つま先）をまず英語で歌って踊る。次に韓国・朝鮮語で歌って踊る。みんなで楽しく外国語で歌ったり、踊ったりすることを通して、異文化理解の入口にしたい。また、韓国・朝鮮が日本に最も近い外国であることも確かめさせたい。

（関連教科・領域：音楽科、総合的な学習の時間、特別活動）

4 ねらい

- ・外国の言葉で楽しく歌ったり踊ったりする。
- ・韓国・朝鮮が日本に一番近い外国であることを知る。

5 展開例

過程	主な学習活動	指導上の留意点	備考
導入	みんなの知っている国の名前を出し合おう。		世界地図
	・知っている国の名前を発表する。	・世界地図で、発表された国の場所を確認する。	
展 開	この歌は、どこの国の音楽だろう。		DVD教材 「音楽」
	・英語版の曲を聞く。	・英語版の曲は知っている子どもが多いと予想される。	
	曲に合わせて踊ろう。		
	・指導者を真似ながら、歌に合わせて「頭」「肩」「ひざ」「つま先」を両手で押さえる。 ・曲に合わせて歌って、踊る。	・教材「外国のことばで歌おう」の63ページを見せ、踊り方を指導する。 ・動作化する中で、対応する言語を考えさせる。	
開	この歌は、どこの国の音楽だろう。		DVD教材 「音楽」 世界地図
	・韓国・朝鮮語版の曲を聞く。 ・どこの国の言葉か予想させる。 ・韓国・朝鮮の位置を知る。	・よく似た曲であるが、言葉の違いに気づかせる。 ・世界地図で、韓国・朝鮮が日本に一番近い外国であることに気づかせる。	
	曲に合わせて踊ろう。		
	・曲に合わせて歌って、踊る。	・動作化する中で、対応する言語を考えさせる。	
まとめ	感想を出し合おう。		
	・外国の言葉で歌ったり、踊ったりした感想を出し合う。	・他の国の歌や言葉にふれることができた楽しさをふり返させる。	

【参考資料】ポプラ社『ゲームでおぼえるはじめての英語⑤あそびうた』